

災害に強いまちへ

雨水貯留管の供用開始

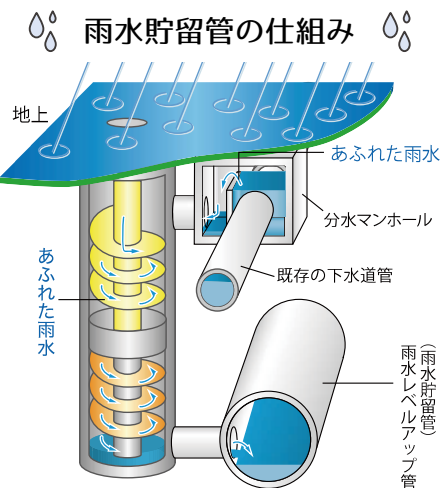
固管路保全室(TEL4860・6158 FAX6368・9903)



雨水貯留管とは？

大雨が降ったときに、既設の下水道管では流しきれずに、水が道路にあふれることがあります。雨水貯留管は、その流しきれない雨水を一時的に取り込むことで、家屋などの浸水被害を軽減させる施設です。

たまった水は、雨が降り止んだ後にポンプでくみ上げ、既存の下水道管に戻します。



浸水被害の多い市域南部に整備

市域南部は、低地で雨に弱い地形のため、これまでに浸水被害が多く発生していました。その対策として、特に浸水被害が多い中の島町から片山町4丁目までの地域を対象に、平成28年度から整備を進めてきた雨水貯留施設(雨水レベルアップ整備 中の島・片山工区)が完成しました。

大雨時に既存の下水道管からあふれた雨水約1万7500m³(25mプール約60杯分)を一時的にためることで、同地域の浸水被害を軽減することができます。



詳しくは市ホームページへ。

